大菩薩峠　完結篇（1961）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1961/05/17

【解説】
　中里介山による未完の同名長編時代劇を、市川雷蔵主演で映画化した大映版シリーズ三部作の完結篇。前二作と同じく衣笠貞之助が脚本を執筆し「おけさ唄えば」で雷蔵と組んだばかりの森一生が監督を担当した。「音無しの構え」で殺気みなぎる机龍之介の最後を描く。
　竜神の滝から落ちた盲目の机龍之介はお豊に助けられ、伊勢大湊の材木屋で体を休めていた。そこで龍之介は、お豊が病魔に冒され自ら命を絶ったことを知らされる。旗本の神尾主膳に捕らわれた龍之介は、甲府勤番駒井能登守の暗殺を命じらるが、夜な夜な里に出て辻斬りを行うようになっていた。辻斬りの噂を聞いた兵馬は大菩薩峠に戻り、ついに二人は対峙するのだったが…。

【クレジット】
監督 森一生
製作 永田雅一［製作］
企画 久保寺生郎
　　南里金春
原作 中里介山
脚本 衣笠貞之助
撮影 本多省三
美術 西岡善信
音楽 塚原哲夫
出演 市川雷蔵
　　中村玉緒
　　本郷功次郎
　　小林勝彦
　　近藤美恵子
　　三田村元
　　丹羽又三郎
　　見明凡太朗
　　阿井美千子
　　矢島ひろ子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.